

届け 世界の果てまでも

令和2年 5月13日

No. 5

文責 校長 飯久保一男

☆この通信は、学校の再開以降は、各家庭に配付させていただきますが、臨時休業中は、ホームページ上での公開とさせていただきます。

分散登校へのご理解とご協力をお願いします。

山梨県教育委員会、南アルプス市教育委員会の指示・指導により、本校では、来週19日（火）と20日（水）に、子どもたちの分散登校日を設けました。25日（月）の学校再開に向けて、段階的に学校生活へ向かうことがねらいです。3か月近くも臨時休業が続きましたので、学校再開の準備のため、各クラスのおよそ半数ずつが登校します。2～6年生は、昨年までであれば、それほど問題なく学校生活が始められたと思いますが、新型コロナウイルス感染症への対策を行う中での登校と学校生活になります。学校に来てやらなければならないこと、やってはいけないことなどを確認し、25日からスムーズに始められるように、そのシミュレーションも兼ねています。1年生も入学式前ですが、25日の朝から感染対策をした中での学校生活が始められるよう、少人数で登校してみて、小学校の朝の学校生活を体験してもらいたいと思います。

子どもたちにとって、長い長い臨時休業で、学校に来ることはできないばかりか、外出も思うままにならず、友達とも遊ぶこともできず、ストレスが溜まっていることと思います。一昨日と昨日の健康チェック・学習課題配付で少しは励ましてあげることができたと思っていますが、来週は、自分たちで登校してきた子どもたちを、たくさん励ましてあげたいと思っています。

実は、私たち教職員にとっては、その裏に逆の思いがあります。教職員は、子どもたちと出会い、子どもたちと過ごす時間に、子どもたちから元気やパワーをもらっているのです。大切な時間なのです。

☆すぐ脱線して話がおかしい方向に向かってしまうクセがあります。お許しください。

「ドラゴンボール」（作：鳥山 明）というマンガ・アニメの主人公「孫悟空」の必殺技に『元気玉』という技があります。人や動物、植物のありとあらゆる生物から、また、大地、海、大気などからも、少しずつ元気を分けてもらい、それらを集めて、強力なエネルギーに変えて攻撃する技です。しかも、善良な者には効かず、邪悪な心をもった者には最強の力を発揮する技です。



<集英社発行「ドラゴンボール」より引用>

私たちの仕事は、この『元気玉』に似ていると思っています。教職員は、子どものことが大好きな者の集まりです。その大好きな子どもたちの、がんばる姿・やってみたいという意欲などは、私たちを元気にしてくれます。子どもたちの笑顔や元気が、私たちにもたらす力はとても大きなものです。『元気玉』のように子どもたちから少しずつ元気をもらえると私たちの大きなパワーになるのです。そのパワーが私たちの強力なエネルギー源になって、授業改善へ向けての努力、粘り強い指導へのモチベーションにつながるのです。

その子どもたちのがんばる姿や笑顔が、3月から学校に「ない」のです。子どもたちのいない学校というのは、それはそれは、つまらないものです。（夏休みの期間など、たま〜にホッとすることもあるのも事実ですが…）早く学校を再開し、子どもたちが来てくれないと、私たちのモチベーションが保てません。それが、段階的にでも再開へ向けて動き出すということで、気持ちがとても盛り上がってきています。

しかしながら、まだ、非常事態宣言が解除された（14日に解除?）わけでもなく、感染者数が減ってきたといえども、新型コロナウイルスの感染が終息したわけではありません。感染リスクがゼロになったわけでもありません。感染のリスクには十分警戒をしながら、油断せずに学校再開へ向かっていきたいと思えます。

先週の土日に「ステイ・ホーム」をしながら、インターネットの記事を見ていました。新型コロナウイルス感染症への政府の対応がどうだとか、パチンコ店が休業要請に従わずにたくさんの人々が来店しただとかという記事が多い中、明るい話題はないかと探してみたところ、花屋の店員さんの話を見つけました。

大阪府内の花屋で働く木村咲さんの話です。2月ごろから新型コロナウイルス感染症の影響が出始めたそうです。送別会、卒業式などが減り、花束の注文のキャンセルが増えたとのこと。外出自粛、緊急事態宣言で、ほとんどのイベントが中止になり、ピアノの発表会などの注文はほぼゼロになり、飲食店向けに届けることもなくなったということです。ギフト関連の花の注文が減り、客単価も下がってしまい、売上げも激減したそうです。そんな状況の中、学校は臨時休業となり、外出自粛が本格的になりました。

しばらく経った頃、変化が出始めたとのこと。「自宅に癒やしが欲しい」と、食料品などの買物ついでに、花や小さな観葉植物、苗などを購入する人が増え始めたとのことでした。

木村さんはツイッターにこんな投稿をしました。

「外出自粛、最低限の買い物のみとなると
花屋なんて、一番に不要とされる仕事だ
と思っていた。

でも…花や野菜の苗を買うお客さん、
休校中のお子さんと育てるとのこと。
家に飾る生花や観葉を買うお客さん、
家にずっといるから…と。
花って不要じゃないんだ。
こんなときこそ必要なのかもしれない。」

この投稿に多くの反響が寄せられました。

「音楽と同じで不要じゃない」
「心を豊かにしてくれる生活必需品」
「花屋は花を売ってるんじゃなくて
心を売ってるんです」

滝沢川河川敷（櫛形中の南）のアヤメです。そろそろ見頃が終わりです。親子で散歩などはいかがですか。



（5月12日撮影）

こんなイラストもを見つけました。

大阪府内の京阪百貨店で宣伝や広報を担当している
田中貞之さんのフェイスブックより引用

